

再確認をお願いします。

◆婦人会…………… (㊟木船真澄委員)

・2/18 例会 10時 静浜分教会

送迎レイン9時30分発

・来年度より会費の集金を月払いとさせていただきます。

・ハーブの会 2月27日 10時 オンライン

・女子青年 2月9日 19時～ZOOM

◆青年会・献血担当… (㊟杉本真俊委員)

・献血呼びかけ2月18日(土) 10時

・献血ルームミューズ集合 ご協力お願いいたします。

◆学生担当…………… (㊟森田直晃委員)

・春の学生おちばがえりにご協力お願いいたします。 問い合わせは担当まで

◆広報庶務部・書籍… (㊟山口正洋委員)

・ふれあい折り込み3月は3組です。



医師と読み解く

驚き! 「かりもの」の体

1/25 発売

定価 1,760円



子どものおたすけ

発達障害・不登校・虐待

イライラしない子育て

法 定価 1,870円

◆時報手配り…………… (㊟澤田常和委員)

・2月手配りは3日・10日・17日・24

日(金)に拠点教会着予定です。

お間違いのないように!

◇2月 定例支部活動

◆合唱団アヴァンティ練習日

とき 2月1日・15日3月1日・15日

会場 鴨江アートセンター (206号)

◆あらみち会… (㊟森川元尋委員)

日時 22日(水) 9時15分～12時

会場 大藤一分教会

講話 山崎誉代先生

一人でも多くの方の参加お待ちしております

◇定例委員会・例会

◆運営委員会… 西大濱分

とき 3月2日(木) 9時30分

◆青年会献血… ミューズ

とき 2月18日(土) 10時

◆婦人会… 静浜分

とき 2月18日(土) 10時

9時30分送迎レイン

◇支部例会

支部例会は4月からの再開を目指

しております。

◇各組活動

【1組】… 組長 鈴木 豊司(濱 東)

〈配本・集金〉 2月28日(火) 濱 東

〈合同会議〉 2月 日() 00時00分 休会

〈ひのきしん〉 3月 日(日) 時 分 休会

【2組】… 組長 渡邊英一郎(濱 松)

〈配本・集金〉 3月6日(月) 11時頃

【3組】… 組長 長田 虎夫(濱 都)

〈会長会議〉 2月27日(月) 10時 濱 都

〈班长会議〉 月 日() 15時00分 休会

〈ひのきしん〉 2月 日(日) 時 分 休会

【4組】… 組長 谷口 和幸(四日市浜)

〈合同会議〉 3月9日(木) 9時30分 四日市浜

【5組】… 組長 古山 慶仁(濱 宿)

〈会長会議〉 2月28日(火) 9時30分 濱 宿

【6組】… 組長 宮本 善成(長 上)

〈合同会議〉 3月 日() 時 分 休会

【7組】… 組長 太田 貴之(濱 名)

〈配本・集金〉 3月9日(木) 10時00分 篠 原

ふれあい

2023年
2月号
No.462
よのもと会
西遠支部

このよふをはじめだしたるしんざつと
みな一れつハしよらせもねば
第八号—27

教祖百四十年祭

年祭活動のスタートを迎えて

支部教務部長 吉岡弘和

(和平分教会長)



たように思います。

その中で、山名大教会より発刊された「道すがら 外編」に教祖のひながたを、改めて学ばせていただいたとき、私たちが直面する困難と考えることは、教祖の道すがらからすれば、何も案じることはない、どんなことも教祖が身をもってひながたにお教えいただいている、ということに気づかせていただきました。

困難に直面したからこそ、もがき苦しみ思案を重ねて、新たな展開が生み出されていくのだと思います。

「ふしから芽が出る」

と教えていただく通り、親神様は私たちそれぞれに見合った、様々な姿をお見せくださるので

あり、私たちはただ教祖の親心に凭れて、信じていまできることを勤めさせていただければよいのだと、改めて感じさせていだいたところです。

教祖百四十年祭の年祭活動スタートとなる今年、いろいろな意味で人間の成長、成人のための大事な時期を迎えるのだと思います。

論達第四号にお示しいただく、陽気ぐらしの生き方を求めて、お互い一歩一歩扶け合いの歩みを積み重ねさせていただきましょう。

道友社では



さまざまなお知らせや「おちばの今」を配信しています。ぜひご利用下さい。

- 道友社 Facebook
- 道友社 Youtube
- 道友社 Instagram
- 写真班 Instagram
- おやさと書店 Twitter

恙なく新しい年を迎えさせていただくことができ、本当に有難く感じさせていただきました。昨年を振り返ると、「さあ困った大変だ、どうしよう?」という場面を何度も経験させていただきました。

父の身上から始まり、いろいろなおたすけ、境内地の整備や身内の出直し、台風被害に交通事故、久しぶりのこどもおぢばがえり、加えて新型コロナウイルス感染症にも直面させていただきました。

正月から毎月のように何かが起こり、それに対応させていたどうかと様々な思案を重ねた合い、多くの方を頼り、お導きさせていただいて何とか事に当たらせていただくことができました。その都度、人のつながりとは本当に有難いものであり、おかげさまで、と感じさせていただきました。

なにより、全てにわたり親神様の大きいなる懐住居でお願いさせていただいたことにも、気づかせていただく一年だった

「いのち」 1. 貴方とわたしのいのちのために — その2

第2回目は、昭和56年1月から1年間、さらに昭和57年から1年3カ月に亘り、ほぼ同じ内容のものをお送りしました。テーマは、「世界文明確立のために」というものでした。

飢えるということ、科学によって命が冒瀆されているということ、原子力兵器ということ、これらの問題の彼岸には、人類の破局が予想されることを明らかにしました。

そしてその病根は、今日まで人類を支配してきた、ヨーロッパ・アメリカ文明にあることを指摘しました。この西洋合理主義という名で君臨してきた、ヨーロッパ・アメリカ文明には、未来はありません。

今日まで、私どもは、「繁栄は、勝利者の頭上へのみ輝く」という競争の論理に支配されてまいりました。私どもは、今日まで、次の二つの主義のもとに、近代文明社会の進歩を積み重ねてまいりました。

人間だけが、神の直系の子孫であり、その他のものは、人間に従属するために造られたのだという、人間中心主義。

始まりは、一人の男からであり、その一本のあばら骨から、一人の女が造られた。それゆえ、

強い個人は、弱い個人を淘汰することにより、勝利者として生き残り、弱肉強食という競争の論理の結果、はじめて人間社会は進歩するのだという、個体尊重主義。

この二つの主義から、今日、人類を支配している、ヨーロッパ・アメリカ人は、他の皮膚の色の異なつた人々に比べて、より神に近い存在であり、より優れた存在であるという白人の傲慢を生みました。

そして、優れたものは勝ち残らねばならぬという旗のもとに、原子力兵器開発は、極限までエスカレートしつつあります。

だが、競争の論理により、人類社会は進歩するという幻想を、捨てねばならない時がやってきました。原子力兵器が5万発を超え、その殺傷能力が、人類の数十倍に達するに及んで、私どもの前には、勝利者をも破滅せしめる現実だけが残されました。競争の論理による進歩に、終止符を打つ時が来たのです。今や人は、ヨーロッパ・アメリカ文明に替わつて、地球上に存在する総ての「いのち」のために、世界文化を確立しなければなりません。

そのためには、ヨーロッパ・アメリカ文明の基盤である、旧約聖書、創世記の思想、即ち、「人はどうして今ここに居るのか?」という歴史が、文明論という立場から、見直さなければならぬと訴えました。

この世界文明の基盤として、天理教教祖・中山みきによって明らかにされた、「元初まりの話」が、21世紀の人類の尊厳な生存のために、一刻も早く、人類のものにならなければならぬことを強調しました。

それから約2年経ちました。そしてこのたび、四たび、連続ラジオ放送をする機会が与えられました。それも、1年6カ月、70数回に亘るものです。

今年の初めにこの計画を聞かされてから、今日まで、約10カ月に亘つて、今回のテーマを練り続けてまいりました。【続く】

〈おわび〉

先月号の題字下おふでさきの引用に間違いがありました。掲載したものは、第八号22番のおうたでした。第八号26番は、正しくは

このはなしどふゆう事にをもうかな
どふゆうはなしもみなしたいから

です。お詫びして訂正いたします。

支部だより

立教 186年
R 5. 2
NO.568

◇表統領挨拶

・今年には歴史のある恒例のお節会が二年前に開催することができました。大勢の方にお帰りいただいて、懐かしんでいただけたことは非常にありがたいことでした。

先日は春の大祭をつとめさせていただきました。折からの寒波で風雪による通行止めの影響よって広範囲で交通渋滞が発生し、かなりの地域でおぢばがえりを断念せざるを得なかったという声を聞かせていただきました。私達はそういう厳しい寒さが、まさに明治20年陰暦1月26日のおつとめに気持ちが悪くなるような状況をお与えいただいて、三年千日へのスタートをしっかりとらせていただく、その心を引き締めさせていただく、その心ができたと思います。



教祖百四十年祭

祭典後には、真柱様から教祖140年祭は期間を持たずに、一日で勤める旨のお言葉をいただきました。しっかりとそこ

に目標を持たせていただこうと思います。

地域は世間でもありますが、その地域にお道の私たちは何をさせていただくことができるのか、あるいはそれぞれの拠点である教会が、どのように地域の中で輝くことができるのかを、段階的な話として考え、求めていくことが一つの考え方であると思います。そういう意味で、同じ地域に住むお道の方々に何かさせていただけることもあります。例えば地域によってのおぢばがえりで、普段は教会からなかなか一緒に帰れない方がたくさんいる地域もあると思います。地域によって、そのようなことも考えていただいても良いかと思えます。いずれにいたしましても、「論議第四号」は私たちの考え方の基準をしっかりと明確にお出し頂いていますので、これを見落とすことなく、教祖のひながたを心として、三年間一手一つに頑張つてつとめさせていただきたいと思えます。

◇本部・教区事項

・ひのきしんスクール

「話し方」教祖のお心を伝えるために」

日時：立教186年（令和5年）2月26・27日

受付：9時 会場：おやかとやかた東左第5棟2階

対象：ようぼく30名 受講御供2,000円

締切日：2月15日（水）

◇支部事項

◆会計部……………

（㊟鈴木通信委員）

・4月集金分より少ひ助成金を集金させていただきますので1教会300円を教区・支部費に加えて納めて下さい。（集金は組長がまとめて毎月2日にお願ひします。）

◆書籍担当……………

（㊟吉岡孝広委員）

・本の部数変更を受け付けます。各組長さんがまとめて3/2までにLINEにて連絡をお願いいたします。

◆ひのきしん部……………

（㊟木船嘉弘委員）

今年4/29全教一斉ひのきしんデー5/4/6 凧揚げ会場ひのきしん。呼びかけをお願いいたします。

◆災救隊……………

（㊟水野慎治委員）

・各教会・信者宅等 有事の際の避難場所の

静岡教区 春の学生おぢばがえり
～次代を担うようぼくへ～

2023.3/27～28

内容	28 日式典参加（本部中庭）
参加費	9,000円
持物	宿泊道具、ハッピー、 保険証マイナンバー
宿泊	山名詰所
27日	11：30 山名大教会発
14時	おぢば着 参拝
15時	お楽しみ行事 18時 夕食
28日	10時 式典参加
12時	直属アワー 16時 おぢば発